

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2003-142967 (P2003-142967A)  
 【公開日】平成 15 年 5 月 16 日 (2003.5.16)  
 【出願番号】特願 2001-341765 (P2001-341765)  
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 3 G 3/20

H 0 3 G 3/30

H 0 4 B 1/16

【F I】

H 0 3 G 3/20 C

H 0 3 G 3/30 B

H 0 4 B 1/16 R

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 27 日 (2004.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の周波数分割されたチャネルを持つ信号を受信する受信装置において、  
 利得可変ループを含み、変動する受信信号レベルをあるレベルに保つための利得可変回路と、

前記利得可変回路の出力に基づいて、複数の隣接チャネルから目的の周波数の信号だけ  
 を取出すための複数段の帯域通過フィルタとを含み、

前記複数段の帯域通過フィルタの一部を前記利得可変回路の利得可変ループ内に取り込  
 んだことを特徴とする、受信装置。

【請求項 2】

さらに、前記利得可変回路の後段に接続され、前記受信信号のレベルを制限するための  
 リミッタ回路と、

前記利得可変回路の利得制御信号のレベルと、前記リミッタ回路の信号レベル検出信号  
 とに基づいて受信信号レベルを検出する受信レベル検出回路とを備えたことを特徴とする  
 、請求項 1 に記載の受信装置。

【請求項 3】

前記複数段の帯域通過フィルタのうち、前記利得可変ループ内に取込む段数と前記利得  
 可変回路の出力側に接続される段数を可変にしたことを特徴とする、請求項 1 に記載の受  
 信装置。

【請求項 4】

さらに、制御信号に応じて前記利得可変ループ内の帯域通過フィルタをバイパスするた  
 めのバイパス回路を含むことを特徴とする、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の受信装  
 置。

【請求項 5】

さらに、受信信号を第 1 の中間周波数信号に変換する第 1 の周波数変換回路と、

前記第 1 の中間周波数信号を第 2 の中間周波信号に変換して前記利得可変回路に出力す  
 る第 2 の周波数変換回路とを含むことを特徴とする、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載

の受信装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【課題を解決するための手段】

この発明は、複数の周波数分割されたチャネルを持つ信号を受信する受信装置において、利得可変ループを含み、変動する受信信号レベルをあるレベルに保つための利得可変回路と、利得可変回路の出力に基づいて、複数の隣接チャネルから目的の周波数の信号だけを取り出すための帯域通過フィルタとを含み、帯域通過フィルタの一部を利得可変回路の利得可変ループ内に取り込んだことを特徴とする。